

リハビリ

水曜と木曜の週2回行っている風船バレーは、ほかの活動同様やりたい方が出席する形式ですが、主目的は介護予防リハビリです。看護師が主導し、日々の活動量が落ちていの方などに職員が声をかけてお誘いしています。現在は毎回6、7名の参加があります。

活動時間は昼食後の30分程度。いすに座って輪になり、ストレッチ用のゴムを使って体を軽く動かしたところに風船が登場。思い思いの打ち



方で風船を床に落とさないようにリレーします。その数は千回を超す時もあり、皆さん笑い声を上げながらも真剣そのもの。知らず知らず自然に体が動く、楽しいリハビリとなっています。



▲見習いから正職員に昇格し、張り切るリリこ(右)とここな

スタッフ リレーエッセー

日ハムが好き

私は日本ハムファイターズが好きで、休日は試合のテレビ中継を観たり札幌ドームに行ったりしています。今年は新型コロナウイルスの影響で開幕が延び、開幕前のオープン戦は無観客試合となり、現地で観戦予定だった私は残念な気持ちになりました。

しかし、日ハムはファンを楽しませることが得意です。ルーキーの河野選手が巨人に3対0で勝ち、昨年不調だった清宮選手の一打がサヨナラに。球団職員も、無観客試合が決まった後ネットで応援イラストや応援歌を募集し、イラストは札幌ドームの客席の一部に貼り、応援歌は音声を合わせて試合中に流し、私たちファンを喜ばせてくれました。こうした試みは他球団にはなかったようで、テレビの情報番組で紹介されました。

日ハムから学び得た周囲を楽しませる気持ちを、仕事にも活かせるよう日々努力しています。

介護職員 遠藤 茜

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)
アウルコート真駒内
 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3
 TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133
入居相談受付中 ☎0120-916-768

交通機関
 ●地下鉄南北線「真駒内」駅下車
 ●じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗車(約5分)「南町4丁目」停下車(徒歩約4分)
 アウルコート真駒内 検索 <http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家 その51 2020年4月 だより

●発行／株式会社私の青い空
 ●編集／アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



13周年の記念日に思う

代表取締役 武田 治信

お陰様をもちまして、アウルコート真駒内は4月1日に開設13周年の記念日を迎えました。皆様に支えられ、つつがなくこの日を迎えることができましたことに、職員一同、感謝を申し上げます。

時の経過はいろいろなものを感じさせます。昨年さまざまな出来事がありました。5月には新天皇が即位され、元号が令和になりました。同じ月に米国のトランプ大統領が国賓として来日されたことも記憶に新しい出来事です。6月には羽生善治棋士が通算勝利歴代1位となり、大山康晴名人の記録を更新しました。

スポーツ界でも多くの出来事がありました。昨年のお正月の箱根駅伝では東海大学が青山学院大学の5連覇を阻み優勝しました。大相撲では花の6・1組と言われた昭和61年生まれの横綱・稀勢の里関が引退し、荒磯親方となりました。

テニスでは四大大会のひとつである全豪オープンで大坂なおみさんが優勝し、陸上ではサニブラウンハキームさんが100Mで9秒97の日本新記録を出しました。野球ではマリナーズのイチローが日米通算4367安打などの大記録を残して引退し、400勝投手の金田正一氏が亡くなりました。歴史は私たちの眼前で塗り替えられていきます。

そして世界は今、新型コロナウイルスに翻弄されています。東京オリンピックは来年に延期されました。昨年末にリチウムイオン電池の開発でノーベル化学賞を受賞した吉野彰氏は、「失敗しないと成功はない」と語り、私たちに感動を与えてくれました。経験したことのない状況の中で試行錯誤し、たとえ失敗することがあったとしても、この先過去を振り返った時に悔いることのない賢明な選択をしたいものです。

コンサート



好評の定例行事

冬道での転倒や風邪などが心配され、外出行事を控えることになる冬。外へ出かけなくても入居者様が新鮮な気持ちで

毎日を楽しめるように、アウルではさまざまな行事を行いました。

昨年11月16日(土)は、職員が加入しているバンド「さんだらぼっち」のコンサート。ハーモニカがご趣味の入居者様も出演

美容レク



職員寸劇に爆笑

入居者様が心待ちにしていたクリスマス会は、12月21日(土)に開催。サンタ姿の代表と、トナカイに扮した施設長がプレゼントをお一人おひとりに渡し、クリスマス気分を盛り上げました。

余興では、小学校でインフルエンザが流行していた影響で、外部参加のチアダンスグループ

は3名のみとなってしまいました。が、かわいらしさに入居者様は目を細めていました。

そして、当日の話題をさらったのは、職員制作の台本による劇団垂雨溜「金色夜叉」でした。男女が入れ替わった寛一・お宮のコミカルな演技に会場は大爆笑。笑いに笑って、体も心もぽかぽかになりました。



され、大きな拍手が送られました。
同月27日(水)には、一昨年11月に初めて行い好評だった美容レクを実施。3回目のこの日は、講師が用意した髪飾りやイヤリングを使ってトータルなヘアメイクをして記念写真を撮り、モデル気分も味わいました。

毎冬大活躍の薪ストーブも稼働。例年よりも外出を自粛した今シーズンは11月から毎月2回ラウンジで茶話会を行い、ココアや小豆ミルク、はちみつレモンなどの飲み物を片手に、昼下がりのおしゃべりを楽しみました。

薪ストーブ



クリスマス会



ぬくもりあふれる多彩な年末行事 冬の巣ごもりも笑顔満開



アウルの四季彩々日記

●1/1(水)

神社のおみくじと御神酒で恒例の新年会

アウルの2020年最初の行事は、毎年恒例の新年会。彌彦神社のおみくじをひき、御神酒をいただきます。ノンアルコールのシャンパンも用意しましたがお酒をご所望の方が多く、職員も元日の特別さを実感。趣向を凝らした館内のお正月飾りも、新春の華やかさに彩りを添えました。



●1/11(土)

鏡開きでお餅に舌鼓

お正月に不可欠なお餅ですが、高齢者には注意が必要な食べ物。アウルの鏡開きでは、小さく切ったお餅のほか、豆腐と米粉の特製餅も用意し、おしるこでおいしいお餅を楽しみました。



●2/3(月)

鬼たちが沸かせた節分

今年の節分の鬼たちは、昭和の刑事ドラマ『太陽にほえろ』のテーマ曲で入場。お面もドラマの出演俳優で、会場を大いに沸かせました。いやし課の2匹もテーブルをまわって活動しました。

